

平成13年 9 月14日
原子力安全対策課
(1 3 - 4 5)
<11時資料配付>

大飯発電所 3 号機の第 8 回定期検査開始について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所 3 号機（加圧水型軽水炉；定格出力118.0万kW）は、9月16日から約3カ月の予定で第8回定期検査を実施する。

定期検査を実施する主な設備は次のとおりである。

なお、大飯発電所 3 号機は9月13日 1 時00分よりコストダウン運転を実施しており、明日の出力降下開始時の電気出力は約98%の予定である。

（コストダウン運転）

運転期間の末期において、1 次冷却材系統のホウ素（制御材）の濃度の希釈を行わず、ホウ素濃度を一定とし燃料の燃焼反応度の低下に伴い、電気出力が低下していく運転をコストダウン運転という。通常は、燃焼反応度の低下に伴い、1 次冷却材系統のホウ素濃度を希釈しながら定格出力を維持している。

- (1) 原子炉本体
- (2) 原子炉冷却系統設備
- (3) 計測制御系統設備
- (4) 燃料設備
- (5) 放射線管理設備
- (6) 廃棄設備
- (7) 原子炉格納施設
- (8) 非常用予備発電装置
- (9) 蒸気タービンおよび蒸気タービン附属設備

1. 主要工事等

(1) 1次冷却材ポンプ供用期間中検査

(図－1 参照)

1次冷却材ポンプの供用期間中検査として、4台あるポンプのうち、Bポンプについて、主フランジボルト、締め付け部等耐圧部の健全性を確認するとともに、分解検査としてインペラ等の内部部品について点検する。

(2) 原子炉容器供用期間中検査

原子炉容器の供用期間中検査として、原子炉容器の溶接部等について、超音波による探傷検査を行い、健全性を確認する。

(3) 原子炉容器照射試験片取出工事

中性子照射による原子炉容器の材料特性変化を定期的に把握するため、原子炉容器内部に設置している照射試験片を計画的に取り出す。

2. 燃料取替計画

燃料集合体全数193体のうち、81体（うち76体は新燃料集合体で新燃料は全て高燃焼度燃料）を取り替える予定である。

3. 運転再開予定

原子炉起動・臨界	:	平成13年11月上旬
発電再開（調整運転開始）	:	平成13年11月上旬 ※
定期検査終了（営業運転再開）	:	平成13年12月上旬

※ 今年度の運転・建設計画（平成13年4月17日記者発表）では、11月中旬の発電再開予定としていたが、定期検査作業工程の見直しを実施し、変更している。

図－１　１次冷却材ポンプ構造図

